

【支部総会報告】

大阪支部

四方 淳司（短大3回生）

平成30年7月7日(土)例年と同じく梅田の阪急ターミナルビル(株)島津製作所関西支社にて学友会大阪支部総会を開催いたしました。気象庁が前日から近畿各地に大雨特別警報、大阪にも大雨警報を発表していました。悪天候のなか、JRや高速道路の一部が不通となったため、開催が危ぶまれましたが、55名の参加者が集いました。

15時から3題の学術講演が行われました。1題目は島津製作所の高村祥司氏より『MobileDaRt Evolution MX8の紹介』と題し、新しいポータブル装置の操作性の良さ、移動中の安全性が高くなったことなど詳細なスペックについて講演していただきました。2題目は京都第一赤十字病院の澤悟史氏(短7回生)より『CT画像(イメージ)再構成を想像(イメージ)する』と題し、CTの再構成法を一般撮影やMRIの原理と織り交ぜながら説明していただきイメージする大切さを講演していただきました。3題目は誠光会草津総合病院の岡田裕貴氏(短11回生)より『若手技師に伝えたい、CTA検査で大切なこと』と題し、頭部CTAで失敗しない撮像方法を中心に造影剤の注入理論についても講演していただきました。どの演題も将来へ向けて役立つ内容でありました。

引き続き17時より総会が行われ、新川秀和支部長(63回生)、玉田彰学友会会長(53回生)、遠藤啓吾学長よりご挨拶をいただきました。学長からは創立90周年記念講演会や学生食堂のオープン、寄付金の依頼などの報告があまりました。鈴木英文事務局長からは学生の割合が以前は男女比が7:3であったが、今年は6:4になっており、病院などからの女性技師のニーズに合うよう、今後は5:5にしていきたいと近況を報告して頂きました。議事では規約改定案が2件あり、どちらも賛成多数で了承されました。その後記念撮影を行い、支部総会は終了しました。

今年は会場を阪急百貨店梅田本店の13階『シャンデリアテーブル』に移して18時15分より懇親会が行われました。久保田裕一氏(65回生)の開会の辞、池和秀京都支部長(65回生)の祝辞と続き、玉田会長による乾杯のご発声で会が始まりました。つつましく会を進め会の中頃で、遠山景子講師(64回生)より新入会員の紹介があり、各新入会員は現在の業務や抱負などを披露していました。閉会の挨拶で新川秀和支部長(63回生)より大雨による災害が発生していたこともあり、早めに懇親会を切り上げた趣旨と早めの帰宅を促されました。

悪天候のなかにも関わらず参加いただいたご来賓の皆様、会員の皆様、協賛企業各社の皆様、本当にありがとうございました。次回もお誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

最後に、今回の西日本豪雨で被災された方々にお見舞いを申し上げます。



以上